

審議会等の会議の記録

会議の名称	第3回伊勢崎市地球温暖化対策市民協議会
開催日時	令和5年11月10日(金) 午前10時00分～午前11時10分
開催場所	清掃リサイクルセンター21 管理棟2階小会議室
出席者氏名	(委員) 松島会長、神部副会長、黒津委員、齋藤委員、 篠崎委員、高橋委員 (事務局) 田部井環境部長、下城環境部副部長(兼)環境政策課長、 櫻井課長補佐、興石係長、横堀主査、久保主査
傍聴人数	3人
会議の議題	(1) 親子環境教室の実施報告について (2) 第2次伊勢崎市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の 分析結果について
会議資料の内容	(1) 親子環境教室について (2) 第2次伊勢崎市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の 分析結果について (3) 脱炭素化の実現に向けた連携協定について
会議における 議事の経過 及び発言の要旨	1 開会 2 議題 (1) 親子環境教室の実施報告について ●事務局より今年度から新規事業として実施した親子環境教室 について説明 会 長：皆様からご意見等ありますか。 委 員：施設見学もあり、手作りは大変だったと思うが、わか りやすく楽しそうでよい。 委 員：もう一歩いくと、中学生や高校生が作るとよい。小学 校低学年に教えるにはどうしたらよいかを考えながら 作る過程が一番勉強になる。このカード作りはモデル になるので、学校で組み込めると、地球温暖化やごみ の問題について、高校や大学へ行った時に実になる。

委員：前回の会議で幼少期を対象にするとよいということで、幼少期を取り上げてくれたが、小学校高学年や中学生へも同時にやっているとよい。

委員：小学生で参加して、中学生で教える側になって、高校生、大学生までいけるようなサイクルができると一番よい。

委員：学校で「地球温暖化問題に対して君たちだったらどうする？」と問題提起して、少しずつ自分達の力で調べて動き出していく教育の現場があれば、自分達で考えて何かできるんだと実感できると思う。

会長：毎年、県の生涯学習センターで開催される夏トクイベントで、地球温暖化防止活動推進センターの活動に群馬大学教育学部の学生達が手伝いにきており、未就学児と一緒に参加している。教育委員会も関わるため難しいが、どこかで横串を入れられるとよい。

委員：カードゲームはよいと思う。これを作るときが一番学べるので学生にやってもらいたい。

委員：親子環境教室として、子どもを通して親も学ばなくてはいけないが、保護者が忙しくて参加できないこともある。学ぶ環境として色々な形で開催できるとよい。

会長：ぜひ継続していただきたい。

委員：10年は継続してほしい。

事務局：貴重なご意見を活かし、学校以外でも放課後児童クラブ等での開催等、今後も検討していきたい。
今回はこちらの職員の手作りで開催したが、来年度に向けてまたご意見等を伺い、お手伝いいただけるようであればお願いしたい。
教育長へ親子環境教室の実施報告をするとともに、現状も多くの学校で環境に関する授業を実施しているが、更に来年度のカリキュラムの中でも環境教育が実施されるよう依頼していきたい。

(2) 第2次伊勢崎市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の分析結果について

●事務局より第2次伊勢崎市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の分析結果について説明

会長：皆様からご意見等ありますか。

委員：計画の改定が2年後ということだが、2030年度の国の削

減目標の中間目標の46%に近づけるために、民生部門で何をするか、前倒しで情報収集して共有していかないと追いつかないと思う。産業部門も厳しい状況にある。

会 長：まさに民生部門で重要な役割を担うと考えている。

委 員：些末なことだけにならずに、伊勢崎市なら何ができるか、見識の深い市長を中心に特色のあるものが何か1つでもあればよいと思う。

委 員：この分析結果を基に、実情を知ったうえで、市民、事業者、行政で何をしていくかを考えていかないとならない。任期中にできなくても種まきをしていけたらよい。それぞれの立場からたくさん発想を出し合っているとよい。

3 その他

- ・脱炭素化の実現に向けた連携協定について
- ・委員の皆様からの情報提供について

4 閉会